

## 中学1年生 校外宿泊研修 (2024.4.12~13)

4月12~13日、中学1年生はオリエンテーションの仕上げとして校外研修を行いました。なお、他の学年は、12日には春休みの勉強の成果を問う実力試験、13日には遠足を実施しました。

12日、中1生はまず学校に集合して、バスで白銀坂登山口に向かいました。白銀坂は錦江湾沿いの道路がまだなかった江戸時代の薩摩と日向を結ぶ街道の一部で、ところどころに当時の石畳が残っています。スタート地点とゴール地点の標高差が約400m、距離にして約3キロありますので、山登りに慣れない中一諸君にとってそれなりにハードだったと思われますが（左上）、一時間程度で全員がゴールに到着しました。

ゴール地点からバスに乗って宿泊所である鹿児島市立少年自然の家<sup>むれがおか</sup>に移動し、入所式を行いました。食堂でお弁当をいただいた後、小雨が降る中、今度は近くの牟礼岡<sup>むれがおか</sup>という高台まで往復1時間半ほどのコースを歩きました。生徒たちは思い思いに話をしながら、各自のペースで歩いていました。

その後生徒たちは初めて自分の部屋に入りました。一部屋20人ほどの大部屋です。みんなはしゃいで盛り上がり、打ち解けました。

入浴や食事を終えると「校長先生プログラム」が行われました。これは全員でゲームを行って、楽しみながらお互いのことを知り、あわせて皆で協力する大切さを実感してもらうものです。「三目並べ」は、体育館の両端から中央にあるマス目までダッシュして赤か青のコーンを1つ置き、駆け戻って次の人に交代するもので（右上）、ことのほか盛り上がりました。また先生が出した計算問題を暗算で解き、その答えを素早く表示するゲーム（右下）では、本校生の計算能力の高さが実感されました。

翌13日には、体育館で屋久杉のキーホルダーを作りました（左下）。予めカットされた屋久杉をサンドペーパーで滑らかに仕上げます。杉の香りも爽やかで、研修の良い記念品になりました。その後退所式を行ってバスに乗り、昼過ぎには皆笑顔で元気に学校に戻ってきました。

この研修を通じて、全国各地から入学して人間関係に不安を抱えていた生徒諸君も、みな確実に友達を増やし、思いやりの気持ちも深まったようです。

